

令和 8 年 1 月 14 日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名・・・医療法人 仁風会 雲陽の里

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所

会議開催日・・・令和 8 年 1 月 13 日

開催場所・・・雲陽の里

出席者

事業所	1 人	利用者	人
利用者家族		地域代表者	4 人
松江市職員		包括支援センター	1 人
知見を有する者		その他 ()	人

活動状況報告

1) 入所状況について

- ・退院の目途が立たなかった方 11 月に 1 名退所、1 月に 1 名入所
- ・今月中に特養入所で 1 名、入院中で胃ろうになった方 1 名が退所予定

2) 生活状況・活動報告

◎11 月法人研修「接遇：電話対応」職員参加

3) インシデント及び事故報告（15 件）内容と対策について報告。

年末に体調を崩して入院された方の転倒や、下肢筋力低下が目立ち特養入所が決まった方の転倒報告が多くかった。

4) 身体拘束及び虐待に関する報告なし。

5) 1/6 地震について

- ・入居者さまは建物外に避難誘導後公用車の中で待機。昼食は施設に戻って食べた。
- ・夜間の対応として病棟に 2 室確保し避難できる体制を整えた。

意見交換

職) 今回の地震では晴れていたために公用車への誘導もそれほど困らなかつたが、悪天候の場合防寒をもつとする必要もあり大変だったと考える。

公民館等に避難する方はあったか？

地) 1 組自主避難された家族があったが一晩だけで帰宅された。毛布と水はあるが食料などは自分で用意してもらう必要がある。

夜間だった場合の避難は大丈夫か？

職) 夜勤者は 1 名なので初動は大変だと思う、応援が来るにしても少し時間が掛かる。説明して簡単に動いていただける方ばかりではないので緊急時は毛布等に乗ってもらい引っ張って移動という事もある。

- 地) 入居者にパニックのような事は無かったのか?
- 職) 摆れを地震と理解できたか不明だが大きな混乱は無かった。1回目と2回目の間に施設内に戻って部屋で臥床した方もあってあわてた。
- 地) 東日本大震災後に訓練はあったか?
- 職) 研修の場で、実際の時間帯に沿って対応を考える研修を受けてことはあったが、今回ガラス飛散に備えてカーテンを閉めるといった細かい事もあると気付いた。紙上訓練にも盛り込みたい。
- 地) ここの方たちは聴こえは問題ないのか? 聽こえが認知症に関係すると聞くが?
- 職) 年齢相応といった方も多いが聞き返しが必ず聴こえないからという訳でもないと思っている。
- 地) 聽こえが悪くなると会話が減り徐々に認知症がすすむケースも多い。補聴器を利用してもらって認知症状が改善したケースを見た事がある。たくさん話しかけて関わりを持つ事は大事。
- 地) そういう面でも家で一人でいるより施設のような場でたくさんの人と過ごす事は良い事だと思う。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価をうけることができたか	
<input type="checkbox"/> 要望・助言等を受ける機会を設けたか	